

保護者の皆様へ

# 家庭学習の手引き

～ すすんで学ぶ子どもを目指して ～



## 家庭を学びの環境に

- その1 基本的な生活習慣を見直しましょう  
早寝早起き・朝食・朝の排便を大切にしましょう。
- その2 家庭の学習環境を整えましょう  
決まった場所で一定の時間、テレビを消して  
学習に集中しましょう。
- その3 学習習慣の定着を目指しましょう  
基本的な学習習慣や自学自習の習慣を  
身に付けましょう

朝霞市立朝霞第七小学校

# 家庭を学びの環境に

～すすんで学ぶ子を目指して～

## 1 基本的な生活習慣を見直しましょう。

確かな学力を身に付けさせるためには、毎日の生活で、早寝早起き、規則正しい食事（朝食）、朝の排便などの基本的な生活習慣を確実に身に付け、子どもにあった1日の生活リズムをつかませることが重要です。生活リズムを整え、早寝早起きを心がけることにより、起床してから余裕を持って食事、排便、登校の準備ができるようにしましょう。

## 2 学力を定着させるために、家庭の学習環境を整えましょう。

基礎学力を定着させ、「学ぶ力」を育てるためには、学校の授業だけでなく、家庭での学習習慣が大きな役割を果たします。学校で子どもたちの主体的な学びを育て、学び方を身に付けさせると同時に、家庭では子どもたちの基本的な生活習慣を確立し、決まった場所で一定の時間、学習に集中して取り組むことが重要です。さらに、テレビやゲームの時間が決まっておらず、1日4時間以上テレビを見たりゲームをしたりする子どもたちも増えていきます。学習をする時はテレビを消して、学習をする場の整理整頓をするなど集中できる環境を整えることが必要です。毎日の生活習慣を見直し、勉強をする場所や時間、テレビやゲームをする時間などを決めましょう。また、読書をする時間を決めて、毎日音読だけでなく静かに本を読む習慣も身に付けましょう。

## 3 家庭での学習習慣の定着に向けて、家庭で話し合しましょう。

「自ら学ぶ子どもたち」を育てるために、子どもたちが一番安心して生活できる家庭で、安定した生活リズムの中、毎日継続して学習に取り組むことが重要です。低学年では宿題などをやりきらせるなど基本的な学習習慣を身に付けさせ、高学年では授業の予習や復習、自主勉強など自学自習の習慣を身に付けさせることを目指しましょう。家庭での学習習慣の定着を目指して家庭生活、家庭教育を見直し、各家庭の事情に合わせた内容や方法を考える参考資料として「家庭学習の手引き」を作成・配布させていただきます。「家庭学習の手引き」では、小学校低学年（1・2年生）、中学年（3・4年生）、高学年（5・6年生）に分けて、家庭での学習時間のめやす（10～15×学年）や学習内容の特徴、学習の基本や家庭での援助など学年に応じた家庭学習の在り方を具体的に示してあります。各家庭の事情や子どもの実態に合わせて、家での約束を家庭で話し合いながら活用していただければと思います。

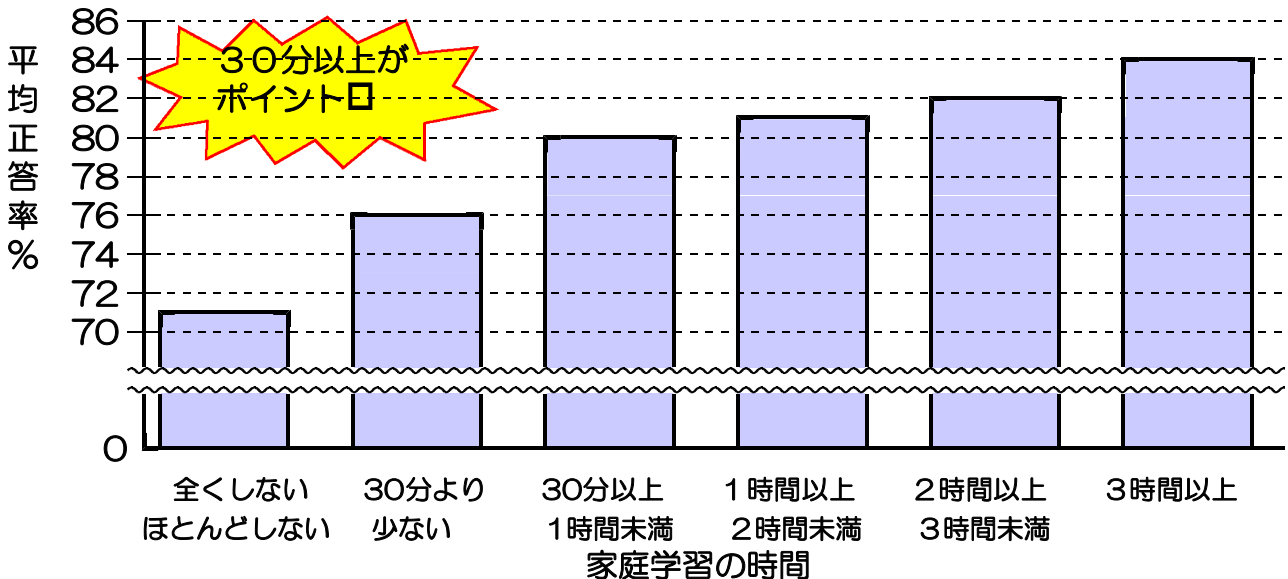
# 家庭学習で学力アップ！

学力の向上には、学校での学習だけでなく、家庭での学習も欠かせません。家庭は子どもの興味・関心に応じて、内容や方法、ペースを自ら考えて学習したり、苦手なことに集中的に取り組んだりすることができる場所であるからです。家庭において学習する時間を決め、自ら進んで学習する習慣を身に付けさせることは大切なことです。

学力アップをめざし、お子さんと一緒に家庭での学習について話し合い、取り組みましょう。

## < 家庭学習や読書の時間と学力の関係 >

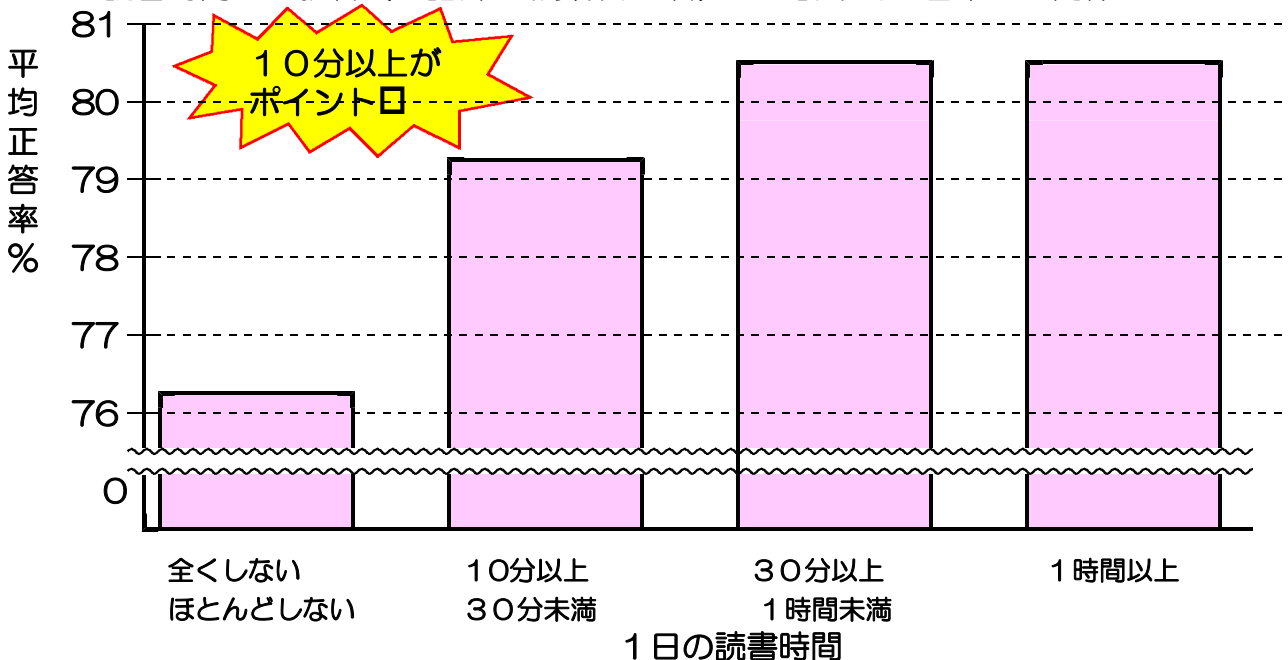
家庭学習時間と4教科(国語、社会、算数、理科)の合計平均正答率との関係のグラフ



家庭学習する時間が  
30分以上あると  
こんなに違います。

読書習慣のある子は  
平均正答率が高い  
傾向にあります。

1日の読書時間と4教科(国語、社会、算数、理科)の合計平均正答率との関係のグラフ



## 家庭学習の内容は

家庭で学習する内容はさまざまです。学校からの宿題はもちろんですが、次のような取組も行っていくと、学力の向上につながります。

- 自主学習…学校の予習・復習をする(特に「復習」は大切です。夏休みなどの長期休業中[学校での学習が進まない期間]に、これまでの学習を確実なものにしていくとよいでしょう。)、興味をもったものを調べる、ものをつくる、教科書を音読するなど、お子さんの興味・関心に応じて進める主体的な取組です。やらされる学習から、自ら取り組む学習に変えることは、自分の学習に自信をもつようになり、学ぶ喜びにつながります。
- 読書…本を選び、目標(何時までに、どこまで読むか)を決めて読書します。読み終わった本について記録をしていくと、取り組んだ成果が見えるようになり、意欲の高まりにつながります。

## 家庭学習を充実させるために

- (1) 学習内容とお子さんの理解度・定着度を把握しましょう。
  - 学校で学習したことを話し合しましょう。
  - 教科書やノート、テストなど、理解や定着の様子を確認したり、話し合ったりしましょう。
- (2) 自ら進んで学習できるようにしましょう。
  - 適度な目標を一緒になって決め、その目標を達成できるよう励ましましょう。
- (3) 家庭学習を習慣化させましょう。
  - 毎日、時間を決めて取り組むようにさせるとともに、その時間内に最後までやり遂げることができるように取り組ませましょう。
  - ゲームやテレビの時間を決めたり、睡眠時間を確保したりするなど、お子さんの生活を見直し、学習時間をあらかじめ決めておきましょう。
- (4) 学ぶ環境を整えましょう。
  - 学習の場の整備…学習する場の確保、整理・整頓を心がけましょう。
  - 家族の協力……学習しているそばでテレビを見ないなど、集中して学習できる雰囲気をつくりましょう。時には親子で新聞を読んだり、読書をしたり、一緒に問題を解いたりしてみましょう。

## お子さんの取り組みを励ますために

- 「よくやったね。」「がんばったね。」など、まず学習への取組に目を向け、努力していることをほめていきましょう。(できなかったことを責めることは、意欲を奪うことにつながりかねません。)
- 「続けることで、力がたくさんついてきたね。」  
「今日も目標どおりできたね。」「明日もがんばれるといいね。」  
「毎日、自分で学習することは素晴らしいことだよ。」  
などの言葉かけにより、継続を促します。
- 「昨日は計算をよくがんばったね。」「今日は何に挑戦するの?」と学習内容を確認する言葉かけも大切です。

# 家庭学習のすすめ

## 復習しよう

学習内容が定着し、確実に力がつきます

1 まず、宿題をすませましょう。

2 今日、学校で勉強したことを思い出してみよう。  
・ 今日、勉強したことをおうちの人に教えてあげる。  
・ 今日の勉強を思い出しながら、復習用ノートに書き出してみる。  
その後、授業のノートと比べてみる。

3 教科書、ノート、プリントなどを見直しましょう。  
・ 授業のノートに、書き間違いや書き落としがあれば、直したり、書きこんだりしておきます。  
・ わからない言葉等は、辞書などで調べます。

4 問題、課題を解いてみましょう。  
・ できている、わかっている問題は、さらっと目を通す。  
・ できなかった、わからなかった問題を大切にする。  
5分考えてもわからない問題は、学校の先生に教えてもらいましょう。

## 余裕のある人は予習しよう

学習する内容がわかっているので、授業が楽しくなります。  
自分の「わからないこと」がはっきりしているので、授業に集中してのぞめる。

1 明日の授業で学習する教科書のページを読む。

2 大切なところに線を引き、わからないところに印をつける。  
・ わかるところ、わからないところを明らかにして、授業にのぞみましょう。

3 わからない言葉、単語などを、辞書で調べましょう。

4 問題、課題を解いてみましょう。  
・ 問題、課題が解けなくても大丈夫です。  
どの問題がわからないのかを明らかにしておきましょう。

◎ 教科によって、また先生の授業の進め方によって、予習のやり方は変わってきます。  
くわしくは、担当の先生に聞きましょう。

# 小学校 1・2年生

## 基本的な学習習慣を身に付ける時期です

### 1・2年生では・・・

「早寝早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」など、基本的な生活習慣を身に付けることが学習習慣の定着に欠かせません。家族の助けを借りながら、学校での学習を受け学習内容や方法を決め、出来たことをほめることによって興味・関心を引き出し、意欲を高めることができます。

学習時間のめやす 15～30分

### < 学校での学習 >

- ・45分を1時間とした授業の中で、「読み、書き、計算」などの基礎的・基本的な内容を学習します。その中には、繰り返し練習することで力が付く学習内容がたくさんあります。
- ・「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「明日の授業の準備をする」「身の回りの整理整頓をする」ことが、学習の基本になります。
- ・生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりする学習が中心になります。

### < 家庭での援助 >

- ・学習を始める前にテレビなどを消しましょう。勉強する場の整理整頓をしましょう。
- ・学校からの連絡やお便り、明日の授業などを子どもと一緒に確かめることが大切です。
- ・学習時間を決めて、家庭学習をする時は近くにいてあげましょう。
- ・まずは、毎日宿題をやりきらせることを続けましょう。
- ・一緒に買い物をしたり、時計をよんだりしながら、子どもの生活経験を増やしましょう。

### < 家庭学習の内容例 >

- 国語** (音読) ・楽しみながら、大きな声で読めるようにしましょう。  
・句読点に気をつけて、すらすら読めるように練習しましょう。  
・毎日続けて練習しましょう。
- (文字・漢字) ・書き順や文字の形に気をつけて書きましょう。  
・正しい姿勢で、丁寧にゆっくり書きましょう。
- (読書) ・子どもの興味や関心、学年に応じた本をまわりに置きましょう。  
・読み聞かせをしてあげることも大切なことです。

- 算数** ・計算力を向上させるためには、まずはゆっくり正確にできるようにし、正しい計算手順を確実に身に付けさせましょう。  
・正しく計算できるようになったら、速くできるように練習しましょう。  
・間違った問題は必ず見直し、もう一度やり直すことが重要です。

- その他** ・音楽の鍵盤ハーモニカの練習をしたり、生活科で動植物の観察をしたりすることも大切なことです。  
・楽しかったことやうれしかったことを自分の言葉で絵日記や日記に書くこともすすめてください。  
・家庭での援助として、音読を聞いて感想を言ってあげることも大切なことです。

おうちでのやくそく

# かていがくしゅうのないようらい 1・2年生

## こくご

### 【おんどく】

- たのしみながら、おおきなこえでよめるようにしましょう。
- くとうてん（「、」や「。」）に気をつけて、すらすらよめるようにれんしゅうしましょう。
- まいにち、つづけてれんしゅうしましょう。

### 【かくこと】

- 正しいしせいで、ていねいにゆっくりかきましょう。
- ひらがな・カタカナ・かん字を、正しいかきじゅん・かたち・おくりがなでかけるように、ていねいにれんしゅうしましょう。
- こくごのきょうかしょのぶんを、正しく、はやくかきうつせるようにれんしゅうしましょう。



## さんすう

- かずのよみかた・かきかたをれんしゅうしましょう。
- まずは、ゆっくり正しくけいさんできるようにしましょう。
- 正しくけいさんできるようになったら、すこしずつはやくできるようにれんしゅうしましょう。



- ◆たしざん・ひきざんのれんしゅうをしましょう。
- ◆かけざんをべんきょうしたら、九九をすらすらいえるようにれんしゅうしましょう。

## そのほか

- たのしかったことやうれしかったことを、じぶんのことばでえにっきやにっきにかいてみましょう。
- せいかつかのがくしゅうにかんれんして、おうちでのしごとにチャレンジしましょう。
- なわとびやてつぼうなど、たいりょくづくりにチャレンジしましょう。
- けんばんハーモニカのれんしゅうをしたり、どうしょくぶつのかんさつをしたりしてみましょう。

# 小学校 3・4年生

## 自主的な学習習慣を身に付ける時期です

### 3・4年生では・・・

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語彙（言葉）の獲得能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになると言われています。「急に勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識を持つ子どもも出てきます。自信を持たせたり意欲をふくらませたりするような励ましが大切です。

学習時間のめやす 30～60分

### < 学校での学習 >

- ・総合的な学習の時間や社会、理科の学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- ・国語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学び、自分で調べる学習をする事が多くなり、自学自習の基礎を学びます。
- ・算数では、四則計算（＋、－、×、÷）の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、分数や小数など少しずつ抽象的な内容も学ぶようになります。

### < 家庭での援助 >

- ・家庭でのあたたかい助言や励ましの言葉でやる気を起こしたり、宿題や持ち物を点検したりするなどの手助けが必要です。徐々に自分でできるように支援していきましょう。
- ・自分から机に向かう姿勢を育て、集中して取り組む習慣を付けさせることが重要です。
- ・学習をする前に、学習する場所の整理整頓を行い、自分で今日の宿題を確認させ必ずやりきらせましょう。学校からのお便りなどを親に手渡す習慣を付けましょう。
- ・社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然などに触れさせる体験をさせましょう。

### < 家庭学習の内容例 >

- 国語**（音読） ・毎日音読をする習慣を身に付けましょう。  
文章を正確に読むことができるようにしましょう。
- （文字・漢字） ・正しい書き順で、正確に文字が書けるようにしましょう。  
とめ、はね、はらいに気をつけて、丁寧に繰り返し練習しましょう。
- （言葉） ・国語辞典や漢字辞典を手元に置き、使い方に慣れるようにしましょう。
- （読書） ・いろいろな種類の本を選んで読むようにしましょう。
- 算数** ・かけ算やわり算など正しい計算手順が身に付くよう、毎日練習しましょう。  
三角定規や分度器、コンパスなどが正確に操作できるように繰り返し練習しましょう。
- その他** ・音楽のリコーダーで習った曲の練習をしましょう。  
社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然に触れる体験をしましょう。  
学校で学習した内容を振り返り、自分の苦手なところや、計算や漢字の練習をしてみましょう。

おうちでのやくそく



# 家庭学習の内容例

## 3・4年生

### 国語

#### 【音読】

- 毎日音読する習慣を身につけましょう。
- 文章を正確に読むことができるようにしましょう。
- 主人公の気持ちやしょうけいをそうそうして読みましょう。

#### 【書くこと】

- 正しい書き順で、正確に文字が書けるようにしましょう。
- とめ、はね、はらいに気をつけて、ていねいにくりかえし練習しましょう。
- 国語の教科書の文章を、正しく、はやく書き写せるように練習しましょう。

#### 【言葉】

- 国語辞典や漢字辞典を手元に置き、使い方になれるようにしましょう。



### 算数

- 教科書やドリルを使って、習ったことをくり返し練習しましょう。

- かけ算やわり算が、正しくはやくできるように練習しましょう。
- 三角定規や分度器、コンパスなどが正確に操作できるようにくり返し練習しましょう。



### そのほか

- 社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然にふれる体験をしましょう。
- 音楽のリコーダーで習った曲の練習をしましょう。
- なわとびや鉄ぼうなど、体力づくりにチャレンジしましょう。
- 好きな本をたくさん読みましょう。
- ◎自主学習にちょうせんしましょう。  
<例> ◆国語…語句の意味調べ、熟語集め、単文づくり  
◆算数…問題づくり、単位を書いて覚える。  
◆自分に合った問題集にちょうせんする。  
間違えた問題は必ずやり直しましょう。

# 小学校 5・6年生

## 自学自習の習慣を身に付ける時期です

### 5・6年生では・・・

生活のリズムの乱れは学習習慣にも影響を及ぼします。もう一度生活習慣を見直し、計画的に学習を進めることが重要です。学習に対する意欲や興味・関心を高めるために、先生や家族の言葉がけが大切になります。目標を決めて、努力できるように、あたたかく見守りながら励ましましょう。

学習時間のめやす 60～90分

### < 学校での学習 >

- ・学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。
- ・筋道を立てて考える力や広い視野で物事を見る力が必要になります。
- ・家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- ・自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを経験することで、ものの見方や考え方を身に付けることができます。

### < 家庭での援助 >

- ・考える力が大人並になり、時には大人への反抗も見られるようになります。
- ・「やればできる」という気持ちを持たせ、子どもの自尊感情を育てるように、ほめたり励ましたりすることが大切です。
- ・家族の一員として、お手伝いや役割を決め、家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり、生かしたりすることができるようになります。
- ・学習する場所を決め、整理整頓し、計画を立てて学習が進められるようにしましょう。

### < 家庭学習の内容例 >

- 国語** (音読) ・情景を思い浮かべながら感情を込めて読むなど、自分のめあてを決めて練習しましょう。
- (文字・漢字) ・詩や俳句などを暗唱したり、朗読したりしましょう。
- (言葉) ・漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。
- (読書) ・短文づくりにも取り組みましょう。
- (言葉) ・国語辞典や漢字辞典を手元に置き、積極的に使いましょう。
- (読書) ・いろいろな種類の本を選んで読むように心がけましょう。

- 算数** ・計算力を向上させるために、よく間違える計算は繰り返し練習しましょう。
- ・答えの確かめを自分でできるようにしましょう。

- その他** ・学校での学習内容を振り返りながら、教科書やノートなどを参考にして、自主的に勉強したり、苦手な内容に取り組んだりしましょう。
- ・日記や自主勉強など文章を書く機会を増やしましょう。
- ・理科や社会で学習した内容などの調べ学習も進んで行いましょう。
- ・その他の教科でも、学習した内容を家庭生活の中で実践したり、生活の中で生かしたりできるようにしましょう。

### お家での約束

# 家庭学習の内容例

## 5・6年生

### 国語

#### 【音読】

- 毎日音読する習慣を身につけましょう。
- 情景を思い浮かべながら感情を込めて読むなど、自分のめあてを決めて練習しましょう。
- 詩や俳句などを暗唱したり、朗読したりしましょう。



#### 【書くこと】

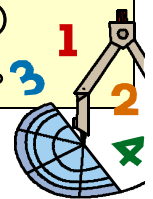
- 正しい書き順で、正確に文字が書けるようにしましょう。
- とめ、はね、はらいに気をつけて、ていねいにくり返し練習しましょう。

#### 【言葉】

- 国語辞典や漢字辞典を手元に置き、積極的に使いましょう。

### 算数

- 教科書やドリルを使って、習ったことをくり返し練習しましょう。(間違えた問題を大切にしよう。印をつけておこう。)
- わからない問題は、教科書やノートを見て考えましょう。



### 理科

- 教科書の重要語句と観察・実験方法、結果を見直ししましょう。
- 授業で学習したところのワークをやってみましょう。できなかった問題は、何度もやり直しましょう。
- テレビや新聞などで話題になる自然や科学に関することに興味をもちましょう。



### 社会

- 教科書を、声を出して何回も読もう。
- 教科書の太字を、ノートに書いてまとめよう。
- 地図帳をそばに置いて、地名や位置を確認しよう。
- 新聞やテレビのニュースで、世の中の動きに関心をもとう。
- 教科書に出てくる資料や絵、グラフに目を通そう。そして、特色や全体的な傾向をつかもう。
- プリントやワークを進めよう。3回くらい繰り返そう。



## そのほか

○なわとびや鉄ぼうなど、体力づくりにチャレンジしましょう。

○好きな本をたくさん読みましょう。

◎自主学習に挑戦しましょう。

<例>◆国語…語句の意味調べ、熟語集め、短文づくり

◆算数…問題づくり、100マス計算（タイムを計る）

◆理科…観察や実験のまとめ、実験器具の扱い方

◆社会…都道府県の位置を地図で確認する。

歴史年表を作る。歴史上の人物を調べる。

◆自分に合った問題集に挑戦する。

間違えた問題は必ずやり直しましょう。

# テストをしっかりと役立てよう

テストは、学習したことをどのくらい理解できたか確かめるために行います。つまり、診断を受けることになります。わからなかったり、間違えたりしたところは、きちんと復習して、できるようになるまでやることが何より大切です。これは、悪いところがわかったので、その治療をすることと同じことになるのです。

## テストを受ける時

- まず、学年・組・番号と名前をきちんと書きましょう。
- テストは、ていねいな字で書きましょう。
- できる問題から先にしましょう。
- 一通り終わったら、必ず見直しをしましょう。

問題 こうていで、子どもが15人あそんでいます。7人が家にかえりました。あと なん人があそんでいるでしょう。

◎しき  $15 - 7 = 8$

$$\begin{array}{r} 15 \\ - 7 \\ \hline 8 \end{array}$$

あいた所で計算する  
ていねいに書く

こたえ 8人

## テストを返してもらったら

- 間違いを直しましょう。  
100点になるまでがんばりましょう。
- わからない時は、そのままにしないで  
自分で調べたり、先生に聞いたりしましょう。
- 終わったテストは、おうちの人に見せましょう。

第二学年  
漢字テスト

5	4	3	2	1
げんき	ながい	たのしい	ちいさな 魚 魚 魚 魚 魚	うみのなか

5	4	3	2	1
元	長	楽	少	海
気	( )	( )	な 魚 魚	の 中